

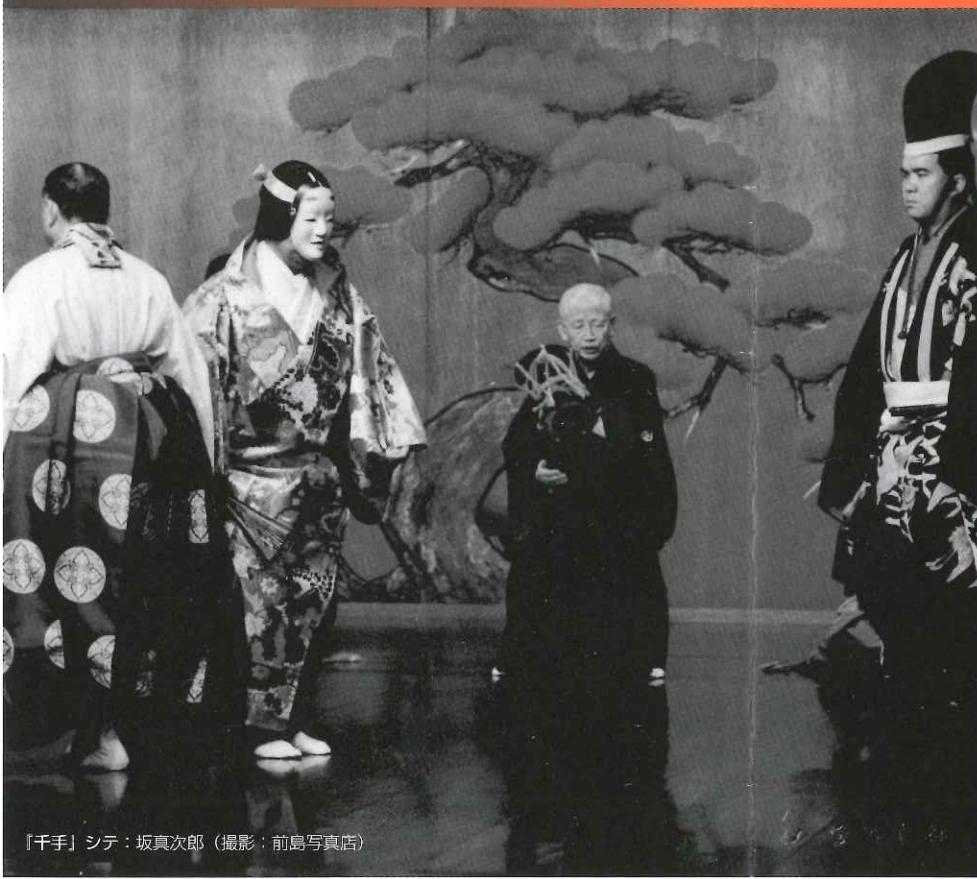
觀

世

流

緑泉会

Kanzeryu Nob-Theatre Ryokusenkai



『千手』シテ：坂眞次郎（撮影：前島写真店）



『鶴亀』シテ：津村禮次郎（撮影：吉越スタジオ）

平成29年 第1回例会

2.5 [日] PM 1:00~ (開場 12:00)

喜多六平太記念能楽堂

能
鶴亀
Tsurumonji

狂言
寝音曲
Nenoyoku

能
千手
Sennyo

狂言
千手
Sennyo

中所 宜夫
坂 真太郎
坂 則俊
山本

第1回例会

2017.2.5 [日] PM1:00 (開場12:00)

喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 品川区上大崎4-6-9 TEL 03-3491-8813

JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。
香港園手前の道を左折し約400m直進、杉野学園体育館手前を左に入る。
※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



●入場料

会員券(年4回) ……一般 20,000円 学生 10,000円
1回券(当日券) ……一般 6,000円 学生 3,000円

●申込先: 各出演能楽師または緑泉会まで

中所 宜夫 TEL・FAX 042-550-4295
坂 真太郎 TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635

〒184-0005 東京都小金井市桜町2-7-18
緑泉会 tel. 042-386-2131 fax. 042-386-2132

附祝言

能	狂言	能
鶴	寝音曲	鶴
亀	太郎冠者 山本 則俊	亀
皇帝 中所 宜夫	後見 河井 美紀	皇帝 中所 宜夫
大臣 野口 能弘 小鼓 大鼓	奥川 恒治 觀世 新九郎 太鼓	大臣 野口 能弘 小鼓 大鼓
従臣 吉田 祐一 隆	官人 若松 藤田 元伯	従臣 吉田 祐一 隆
官人 若松 藤田 元伯	主 山本 則重	官人 若松 藤田 元伯
地謡	中森 健之介	地謡
菅野 貞男	吉留 敬高	菅野 貞男
藤村 答	中森 貴志	藤村 答
桑田 貴志	津村 禮次郎	桑田 貴志
鈴木 啓吾	中森 啓吾	鈴木 啓吾
貴志 啓吾	吉留 敬高	貴志 啓吾
吉留 敬高	中森 啓吾	吉留 敬高
元伯 啓吾	中森 啓吾	元伯 啓吾
貴寛 啓吾	吉留 敬高	貴寛 啓吾
●休憩十五分	●休憩十五分	●休憩十五分

能 千手 (せんじゅ)

平清盛の五男 平重衡は一の谷の合戦で敗れ、捕われて鎌倉に護送されている。鎌倉では狩野介宗茂に預けられているが、源頼朝は、この若く凜々しい平家の御曹子に少なからず同情を寄せ、自分の侍女で、手越ノ宿の長者の娘である千手前を遣わし、後いくばくもない命のつれづれを慰めようとする。ある春の雨の夜、宗茂(ワキ)は重衡(ツレ)に酒を勧めようとして来る。そこへ千手(ヘシテ)も琵琶を持って訪れる。宗茂は千手が来たことを伝えるが、往来の人に行き当たり、狂いかの仰せで伺つたのだと宗茂に告げ、宗茂も対面を再度勧める。千手は重衡の心中を思いやり、酒の酌をし、朗詠を謡い、舞を舞つて、心を引き立たせようとする。重衡も興にのつて琵琶を弾くと、千手も琴を合わせ、夜の更けるまでつかの間の宴を楽しむが、翌朝 重衡は勅命によつてまた都へ送り帰されることになる。「はや後朝に引き離るる袖と袖との露涙」:涙ながらの別れである。

田村 キリ(だむら きり)：武者姿で現れた坂上田村麿の靈。鈴鹿山の朝敵を討つよう宣誓を受けた田村麿が、觀音の仏力により、見事に凶徒を討ち果たした有様を見せる。

西行櫻(さいぎょうざくら)：西行の夢の中に現れた老桜の精。都の桜の名所を数々挙げ、春の錦の様な美しい有様を語り舞う。

花月 キリ(かげつ)：清水寺で父と再会した少年花月は、天狗にさらわれてから山々を巡つた身の上話を謡い舞う。そして今ここで父とまた巡り会い、共に伝道修行に出られることを喜ぶ。

弱法師(よろぼし)：弱法師(後徳丸)は入り口を拝み、かつては見慣れていた難波の美しい風景を心に思い浮かべ、心眼に映える光景に恍惚となるが、往来の人に行き当たり、狂いから覚める。

能——鶴亀 (つるかめ)
古の中国での新年。宮殿において新年の行事が執り行われる。皇帝に仕える官人(間狂言)が登場し、皇帝が月宮殿にお越しになるので皆参上するように、と触れる。絢爛豪華な宮殿で、皇帝(シテ)は百官卿相(役人と貴族)の拜賀を受け、万民も祝賀の声をあげる。大臣(ワキ)の奏上により、例年のように長寿を象徴する鶴と亀(ツレ)が舞を舞い、喜んだ皇帝は自らも舞樂を舞つて長生殿に還御する。

天下泰平、國家の長久を祈念し祝福するという祝言曲。舞台となる月宮殿や鶴亀の相舞、皇帝の樂など、きらびやかさにあふれ、新春にふさわしい曲である。